

## 「事業倒産と結婚詐欺」～お金をめぐる人間模様～

■仮名:Kさん(男性)  
■年齢:38才

## 【カネ集めに追われて】

ある日、30代の男性が相談にやってきた。話を聞くと、「これからの生活に不安を持っていて、何かいい仕事はないですか?」と言う一さわやかな風貌をした相談者の男性は、初対面にも関わらず妙に人当たりが良かった。「こちらに来たきっかけは?」相談員が尋ねると、男性は「実は以前、刑務所に入っていたことがあって…。その時にこちらのことを新聞で読んだので」と話す。事情を聞くと、男性は以前に脱サラし、幼馴染みの男性らと共に事業を立ち上げていたという。しかし経営は1年弱で傾き始め、すでに倒産したという。資金難に陥り経営が思うように進まず、信頼していた幼馴染みとの関係にも次第に亀裂が入り始めた。なんとか経営を立て直そうと、男性は資金集めの営業活動にも奔走した。しかし、思い描いたようにはうまくいかず、いつも借金返済など「カネ」に追われる生活が続いたという。

## 【婚活パーティに潜む罠】

そんなある日、男性は幼馴染みから「婚活パーティでも街コンでもいいから、男を売りにして出来ることがあるだろ。手段選んでる場合か?!とにかくカネ集めて来いよ。」と言い放たれたという。幼馴染みのそんな一面を目にした事がなかった男性は、カネが絡んだ時の人間の変わり様に愕然とし、それ以来、人間不信に陥ったと語った。当時、男性には妻と3才になる子どもがいた。結婚当初は商社勤めのサラリーマンで収入も良かったため、都心にマンションを買い、お金には困らない生活を送っていた。しかし、脱サラして事業が傾き始めてからは、妻からも「こんな生活を続けるくらいなら離婚して実家に戻る。お金に困らないと思ったから結婚したのに。」そう言われた。

「世の中、結局『カネ』なんだ」—それ以後、男性は自分以外に対する信頼を捨て、罪を罪と思う良心さえも麻痺していったようだ。男性は、巷でも審査のユルい婚活パーティに潜入した。さらに、「真面目な出会い」を売りにしている婚活サイトにも登録した。そこで男性は、「バツイチ」「未婚」と偽ったうえでターゲットの女性を見つけ、すぐに相手の女性を信用させた。出会って1カ月で相手女性の実家に挨拶へ行き、それがあたかも「結婚前提の真剣交際」であるかのように演技続けたという。しかし、そもそも「カネ集め」のための「詐欺」である。最終的に、男性は別々の婚活パーティで知り合った2人の女性から、計約1000万のカネを騙し取った。相手の女性はいずれも真剣に結婚を望んでパーティに参加していたという。男性はいずれも同じ手口を使い、「事業がうまく進んだら、すぐに籍を入れよう。誠意をわかってもらいたいから、ご両親にも挨拶させてほしい。ただ、どうしても事業資金が無いんだ…」と弱音を漏らして同情を引いたという。

## 【詐欺の手口】

女性たちにどうやってお金を出させたのかを男性に尋ねた。男性の話では、2人の女性はいずれも地方出身者で一人暮らしをしていたという。実家が特に裕福なわけでも、勤めている会社の給料が特別いいわけでもなかったらしい。実際、被害に遭った女性の一人はフリーターだった。「いずれ結婚する彼のために」と言って女性が両親に頼み込み、両親が女性の結婚資金を男性に渡した。もう一人の女性は上京後、介護の職に就きながら生活していた。その女性は初めて自分名義でサラ金から借入した数百万円を、すべて男性に託したという。結果的に、男性と連絡が取れなくなった2人の女性がそれぞれ警察に相談し、事件が発覚した。独身と偽り、女性との結婚が果たされず、多額の金銭を騙し取ったため男性は逮捕された。そして出所後、仕事に困って相談に来たのだった。被害に遭った女性の心中には、結婚に対する焦りもあったのだろう。また、男性との将来を本気で信頼し託したのかもしれない。「今回が特別運が悪かっただけ」と割り切ることができれば良いが、その後、男性不信に陥らないことを願うしかない。男性は出所後も、女性達へのお金の賠償に追われているという。最後に、「こんな自分の話を最後まで聞いてくれてありがとうございます」と言い、涙を流していた。これまでの経緯を一通り話し終えると、男性は納得したように帰っていった。